

# KAGAWAアンバサダーからのお便り ～石谷 誠さん～

2017年2月

香川の皆さん、こんにちは。KAGAWA アンバサダーの石谷です。今回はインド滞在中に香川県人会のメンバーで行ってきた仏教徒にとって最大の聖地であるブッダガヤの紹介をしたいと思います。

私は弘法大師が生まれた善通寺市の出身でインド駐在以前から仏教のルーツには関心があり、お釈迦様が菩提樹の下で悟りを開いたと言われるブッダガヤには是非行ってみたいと思っていました。ムンバイ香川県人会からは東京海上日動火災の赤松さんと明治安田生命の塩谷さんが同行してくれることになり、インドでは1年で最も気候の良い1月の共和国記念日の連休に行ってきました。まずムンバイから空路ガンジス川での沐浴で有名なバラナシへ移動、近郊にあるサルナートの遺跡を訪ねました。ここはお釈迦様が最初の説法をし、仏教の布教が始まった地と言われています。巨大なダメーク・ストゥーパを見た帰りに日本語で「さちこの土産屋」と看板が出ている店で菩提樹の実で出来た数珠を3人分インド人店員との長い価格交渉の末、購入しました。



サルナートのダメーク・ストゥーパ（仏舎利を入れた塔）

翌日車で 5 時間かけてブッダガヤへ到着しました。ブッダガヤにはお釈迦様が悟りを開いた場所に紀元前三世紀頃アショーカ王が建立した寺院が起源と言われるマハーボディー寺院（大菩提寺）を囲んで、各国の仏教寺院が万博のパビリオンのように建ち並んでいます。タイ寺、中国寺、ミャンマー寺、ベトナム寺、スリランカ寺、バングラ寺、チベット寺、ブータン寺に加えて鎌倉のような大仏もあり、印度山日本寺では座禅も組ませてもらえました。講話を聞かせて頂いた日本寺の住職の方が白人だったのも異国情緒がありました。その夜は日本人コックが近所の池で取れたナマズや雷魚の蒲焼を食べさせてくれると日本人会で紹介されていたブッダガヤ・リージェンシー・ホテルに泊まりました。翌朝、いよいよ菩提寺に参拝です。



ブッダガヤの大菩提寺本殿の前で（52m の塔の右手の木が菩提樹）

寺院内に入ると、橙色や小豆色の僧衣を纏ったタイ・ネパールその他アジア各国から来た巡礼者の方々に混みあっていましたが、皆整列して歩き、道を譲り合う等、インドではまず見られない光景に束の間インドを出国したような気分を味わいました。大菩提寺のすぐ裏手には大きく枝を拡げた菩提樹が茂っていますが、この木は 2500 年前にお釈迦様がその木陰で悟りを得た木の末裔で 4 代目と伝えられています。その菩提樹の下では、ちょうど韓国から来た一団が座り込んでお釈迦様が悟りを開いたとされる場所に祀られている金剛座に向かって熱心にお祈りを捧げているところでした。



大菩提寺の御本尊

その後、長い列に並んで寺院の中に入っていくと、一番奥に眩い黄金の仏像が置かれていました。その前で番をしている若い僧は前の参拝者が供えていったフルーツ等が棚に溜まると後から来る参拝者に惜しみなく分配すると共に、参拝客が差し出す持ち物をわざわざ台座に登っては仏像の金色の衣に擦り付けてくれていました。我々も前日買った数珠を彼に差し出し、御本尊に触れさせてもらうことができました。

ブッダガヤからの帰路は車でほんの 15 分ほどのところにあるガヤ空港からエア・インディアのデリー便に乗りました。ガヤ空港は小さいながらも国際空港でカトマンズの他、バンコクとの間でもタイ航空が直行便を 10~3 月のハイシーズンには毎日運航させており、日本からのアクセスは意外に良いことがわかりました。仏教発祥の地への巡礼にご興味のある方、すでに四国遍路八十八ヶ所を巡り終えて高野山にも結願を報告され、さて次はどこへ行けばいいのかと思案されているような方は是非世界的な仏教の聖地ブッダガヤへの巡礼をご検討ください。

ブッダガヤがあるビハール州の人口は 1 億人、今はインドの最貧州の一つですが、今後の経済発展の余地が大きいこと、及び富裕層も少数とはいえ母数が大きいのでそれなりの経済規模であることから、香川県から仏教繋がり観光客が増えれば、ゆくゆくは相互の経済成長、雇用創出機会に繋がるような友好関係に発展するかもしれません。なおブッダガヤには、現地に進出している唯一の県内企業ニチデンオープンシステム(株)が設立したトラベル会社があり、香川県からブッダガヤへのツアーについてノウハウを蓄積していますのでこの機会に紹介させていただきます。

[http://www.bodhgaya.jp/tour\\_travels.htm](http://www.bodhgaya.jp/tour_travels.htm)



### 石谷 誠 (いしたに まこと) さん

伊藤忠丸紅鉄鋼(株)事業総括部長。日本・東京都在住。KAGAWA アンバサダーを平成 26 年 4 月 1 日に委嘱。

善通寺市出身。

米国駐在歴 14 年の商社マン。2012 年から伊藤忠丸紅鉄鋼(株)とインド民間最大手の鉄鋼メーカーである JSW スチール社との合併で設立されたインド・ムンバイの鋼材加工販売会社の社長。2016 年 3 月に帰国。

#### ☆KAGAWA アンバサダー事業について

香川県の名誉大使として、海外で広く香川を紹介していただいたり、県の活性化のために経済、観光、文化など幅広い分野で、情報提供や提言などをしていただいたりする事業です。

#### ☆KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。